

2000 春号

調布まち会だより

発行：特定非営利活動法人調布まちづくりの会 <http://www.fukuda.is.uec.ac.jp/cmn/index.htm>
 〒182-0024 東京都調布市布田1-20-12-203 TEL:0424-88-3985 FAX:0424-88-3986
 発行責任：大久保喜正 郵便振込口座:00150-1-136749 加入者名:調布まちづくりの会



特定非営利活動（NPO）法人 調布まちづくりの会 誕生！！！！

昨年11月に東京都に申請していたNPO（特定非営利活動法人）の認証を3月9日に受けました。登記等の手続きを済ませ、4月3日付けで特定非営利活動法人調布まちづくりの会が正式に発足しました。これにより任意団体であった旧調布まちづくりの会は解散し、その会員、会費等は新生特定非営利活動法人調布まちづくりの会に移行することになりました。今後ともよろしくおねがいいたします。

- 会の目的は？ -

市民と地方公共団体、企業との協働によるよりよい地域づくりを目指し、まちづくりに関する調査研究及び企画提言を通してまちづくりの実践・提言に関する事業を行なうとともに、市民参加に必要な手法の研究・開発及び地域における市民活動に必要な情報の提供に関する事業を行ない、まちづくり

に貢献することです。

- これからどんなことやるの？ -

旧調布まちづくりの会の部会を中心とした活動を継続しますが、具体的には「まちづくりに関する調査研究、啓発活動の企画・運営、政策提言、情報提供」を行うことを明確にしました。長期的には他の市民団体等への「まちづくり活動やその運営に関する支援」を行っていきたく考えています。

- 会の主な活動は？ -

- ・景観部会
- ・シンボルロード部会
- ・沿線まちづくり部会
- ・まちづくり調停部会
- ・市政学習会
- ・相互塾の主催等

定例会：月1回 第1水曜日
19：00～21：00（参加自由）

会費：年2,000円

理事：理事長大久保喜正 他11名

監事：2名

会員：42名(2000年5月現在)

- 法人化に至るまでの経緯 -

- ・平成8年夏 / 都市計画マスタープラン策定のために市民が集まる
- ・平成9年2月 / 都市計画マスタープラン策定市民組織として「調布まちづくりの会」発足(この間市民主導によるWS、シンポジウム等の開催を経て、市民起草による都市マスを作成)
- ・平成10年3月 / 都市マスの策定
- ・平成10年7月 / 市民による都市マスの内容の発表
- ・平成10年10月 / 市民活動団体としての「調布まちづくりの会」が再発足し、活動開始
- ・平成11年5月 / 法人化の準備
- ・平成11年11月 / 東京都へNPO申請(東京都による4ヶ月の縦覧)
- ・平成12年3月9日 / 法人認証
- ・平成12年4月3日 / 法人登記

- 調布探検まちあるき -

4/1(土) 多摩川周辺ウォッチング

景観部会

多摩川団地から府中崖線沿いに西へ向かい桜堤通りや調布ハウスなどを通して京王多摩川駅が到着。コース距離は約5Km、多く見積ってほぼ2時間の徒歩で昼到着予定だったが約1時間程オーバー。なぜか？理由は明白だ。それは日頃目にとまっていなかった植物や住宅・水路・畑などの風景が、集まった職種や思考、興味の違う人々の様々な視点によって新鮮に感じられ、多くの知識を享受しながら心地良い時間となった

からであろう。更に、調布の地質や歴史、現在の問題点といった話を実際に目で見て、体で感じながら聞くので調布に対する親近感が湧いてくる。これこそがまちあるきの醍醐味。戸外が気持ち良いこの時季、調布探検はお勧めです。(参加者レポート)

4/23 仙川周辺(第2回)
6/3 野川～深大寺(第3回)
7/8 東京スタジアム周辺(第4回)



布田崖線下の“染地せせらぎの散歩道”は水路を暗渠にして整備されたもの。

調布の“かお”をつくろうよ！

深大寺 ~ 調布駅 ~ 多摩川

シンボル道路
部 会

調布市都市計画マスタープランでは「住み続けたい緑につつまれるまち」をめざして、「人と環境を優先する交通体系づくり」を進めるとしています。調布駅 - 深大寺バス停留間の計画道路(3.4.30号線)と調布駅 - 桜堤通りの間の計画道路(3.4.29号線)は、昭和60年度基本計画におい

て「調布のシンボル道路」と位置づけられました。緑豊かな環境に優しい道を期待する多くの市民の願いを実現させたいと、シンボル道路部会ではいろいろな調査や市への提言を行っています。NO₂測定では、大気汚染が深刻な状況にあることが分かりました。

シンボル道路って？

地域の顔になる道路のこと。車を走らせることを優先し、全国画一的な道路づくりをしてきた反省から、郷土色豊かな並木を持ち、歩道に十分なゆとりを持たせた道づくりをめざして、建設省が言い出したもの。

歴史と緑いっぱいの深大寺と植物公園、まちの中心になる調布駅、水と緑の多摩川、調布では、これらを結ぶ幅員16mの新しい道路を「シンボル道路」として整備することになっています。

(図 - 1 参照)・・・

どんな道ができるのかな？

<話し合いで出た市民の声>

- ・ゆったりした広さがあって、歩いて楽しくなる並木道がいい。小さな“腰掛け”もあったりして。
- ・車も多くななく、静かに走っていて安全。もちろん、環境を悪くしないような道。
- ・うば車や車椅子も、横断歩道で上下することなく、平らなまま渡れるとか。
- ・国分寺崖線の自然を痛めない道であって欲しいんだけど！

NO₂測定って？

シンボル道路部会では、この道ができた時、大気汚染がどう変わるか調べ



図 - 1

るため、道路予定地周辺で大気の流れを測定してみることにしました。

空気中のNO₂(二酸化窒素)やCO₂(二酸化炭素)の量は、自動車排気ガスなどによる大気汚染のバロメーターです。さいわいNO₂については、簡易測定法が開発されていて、市民でも簡単に測れます。



上の写真のようなカプセルを柱などに取り付けて空気にさらし、取り外してから試薬を注いで、試薬がピンク色に変化する濃さを測ります。カプセルにはNO₂を吸着しやすい薬品をしみこませた紙片があらかじめ入れているわけです。

結果は？何が分かったの？

測定結果の一部をグラフで紹介いたします。測定は毎月中旬の1週間を選んで行いました。

まちづくり勝手に Q & A

Qまちづくりと都市計画とどう違うのですか

Aまちづくりは、戦後の農地解放等を契機に展開された「村づくり」に呼応するかのよう高度成長期から頻りに使われているようです。町づくり・街づくり等の表現もあり、概念的には多様、多義で曖昧ですが、福祉、合併、住民運動の機会にハード、ソフトの様々な場面で用いられていたようです。近年では特に担い手の人に焦点をあてた場合に使われているようです。

都市計画は一般的に都市を計画するという意味と都市計画法に基づく行為を指す場合があります。

現在ではあえてまちづくりが市民と行政の協働で、例えばある地区を改善していく等ハードとソフトが融合した活動や、ソフト寄りの活動、計画策定の機会に用いられ、面的に広がりのある大規模開発やトップダウンで行われるハード寄りの行為を都市計画とし、対比させて説明する場合があります。意味に違いがあるのではなく、違うように意味づけされているのだと思います。



カプセルに試薬を注ぎNO₂濃度を測る

図-2はNO₂濃度の月別平均値の推移で、車の交通量の多い佐須街道・武蔵野市場横と調布ヶ丘3-39Tマンション角、車の少ない布田天神角と深大寺元町・池上院坂下の4カ所の測定結果です。比較のために甲州街道下石原交差点の交番裏での測定値(これは調布市の測定値)も示しました。

図-2から、車が多い所は明らかに汚れがひどく、また、夏よりも冬の方が悪いことがわかります。驚くべき事ですが10月以降は下石原交番裏よりも武蔵野市場横やTマンション角の方が高濃度でした。前者が交番や塀の裏側で、道路から隔てられているためかも知れません。いずれにしても、武蔵野市場横(図示してありませんが、佐

須街道は他の2地点でも同様です)やTマンション角の汚れは、10月以降、環境基準(1時間値の1日平均が0.04から0.06ppm以下)を超えており、健康への影響が心配されます。

図-3は武蔵野市場横とTマンションの角で測った8月と12月の日毎の平均値です。測定当日の平均風速(調布市が下石原局で測定したもの)を示してあります。日々の変化を見ると、日曜日(8/15と12/12)は車の交通量が少ないためにNO₂は少なく、風の強い日は排気ガスが吹き飛ばされるためにNO₂が少ないと推定される結果が得られています。

12月の測定結果は日曜日を除いて0.061ppm以上あり、「大変よごれている」と評価される最悪ランク(大気汚染測定運動東京連絡会のランク分け)になっていて、これらの地点ではすでに前記した環境基準を越えていると思われる。

どうすればいいの？

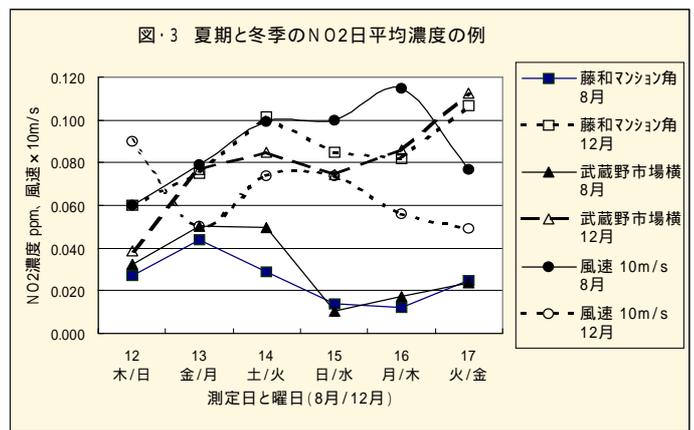
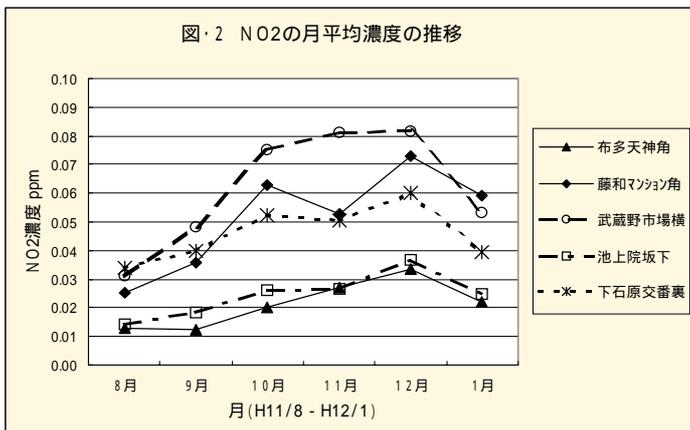
まず、現在より悪化させないこと。車の交通量を抑える、排気ガスをきれいにする、風の通りやすい街の構造にする、車道との間に浄化効果のある樹

木の防護壁を設ける等があるでしょう。都知事が言うような車の流入規制やディーゼル車対策などの、思い切った施策も考えられます。

シンボル道路の用地買収は調布ヶ丘3丁目の辺は進んでいます、予算がつかないため着工の目途は立っていません。しかし、着工遅れは道づくりを考える好機と捉えることもできます。シンボルと呼ばれる道路が出来て環境悪化が進むようでは困るのです。どんな道にすべきかと言う最初の問題に立ち返って、どうすればよいかを、これからは調布市と一緒に考えていきましょう・・・シンボル道路部会はそのような場づくりをしたいと考えています。

参加者募集中！

なお、NO₂の測定は今後も続ける計画で、測定データの検証もやっていく予定です。市民の皆さんの参加、大歓迎です。(矢嶋・小楠)



Qわかんないな？ではどう使い分ければいいんですか？
A都市計画も地方分権の中でどんどん権限が委譲されつつあるので、これから市民の出番も増えてきます。「まちづくり」はある特定の状況で使うというものでなく、使い方は自由なので、「まちづくり」という言葉にどのような思いを込めるか、込められているかに視点をあてるべきだと思います。

～次号予告～
次号(夏号)は、「調布の蔵」がテーマです。市内にいまも現存している蔵にスポットをあて調査中です。どんな蔵がどのくらいあるのか・・・などなどお楽しみに。

わがまち発見のコーナーを設けます。あなたのおすすめのスポットなどお知らせ下さい。原稿写真などお寄せ下さい。

シリーズ 調布今昔 ~ 調布ヶ丘の田んぼと水路 ~



1941年(昭和16年)頃の佐須と調布ヶ丘の田んぼ
写真提供：大久保光庸氏(富士見町在住)



現在の風景(2000年3月、虎狛神社裏にて)

写真募集
調布の昔の
写真を探し
ています。お
持ちの方は
調布まちづ
くりの会ま
でご連絡く
ださい。

佐須町1丁目の虎狛神社境内にあつた市指定天然記念物のクロマツは、昨年枯れてしまったが、神社には今もソロヤシラガシの大木が茂っている。昭和40年頃までは、境内の周りを小川が流れ、神社の南と西側には田んぼが広がっていた。

左の写真は神社裏の小川の畔から西方を見たもの。調布ヶ丘3丁目の茅葺きの家や、深大寺元町の家まで

見えており、晴れていれば後方に富士が望めたであろうと思われる。現在は、この写真の右上部を佐須街道が斜めに走っている。

田んぼに規則正しく白いものが並んで見えるが、これは脱穀を終えた藁を小さく束ねて立ち干ししているもので、晩秋から初冬の風景。乾燥させた藁は保存ができ、冬季の牛の飼料や敷きワラとして、また保存野菜や苗床の防寒

に、畑の敷き藁や肥料などの農作業用に、あるいはよく叩いて草履や荒縄の材料などに用いられた。90才くらいのおばあさんの話し、「昔は本当に捨てるものがなかった。」

右の写真はほぼ同じ位置からのもの。小川は道路になり、一面の田んぼはすべて埋め立てられて、住宅地や卸売市場、工場などに変わった。

ハリウツドの桜よ、来年も！

今年も3月上旬から、調布ヶ丘3丁目のハリウツド化粧品工場のオオカンザクラが咲き始めました。花の季節に先がけて咲くこの桜を、たくさんの人たちが楽しみにしており、桜の写真は、毎年、市報を飾ってきました。ところが、工場を移転し、ここにマンションを建てる計画が進んでいます。

桜の伐採を心配した地元自治会を中心に、獣医さんなども加わって桜保存の署名運動が展開されました。市民や都民の熱い支持を得て、署名は3週間に約2,500筆も集まり、この思いがマンション業者を動かすことになって、オオカンザクラ2本を残すとの回答が得られました。

署名は要望書とともに、4月11日、調布市長に提出。調布市も、「樹木が痛まないよう協力し、約束の実現を注意深く見守る」とのことです。市民が声を出すって、大事ですね。(矢嶋)



オオカンザクラの下の署名風景。まち会メンバーも署名集めに協力した。



白百合女子大の井戸

第2回まちあるきレポート

4/23(日)に実施。つつじヶ丘駅を出発し、若葉町の国分寺崖線-糟嶺神社-電通学園裏の環境保全地区-電通学園を経て、午後、仙川区画整理-仙川崖線-緑ヶ丘、仙川駅まで、総勢20名で楽しく歩きました。東部地区は、緑が多く新緑を堪能。途中、農家へ朝掘りたけのこを買いに走る姿もありました。(安部)

市報を見て参加された新倉剛さんの俳句

崖線の小道桜蕊踏んで

インフォメーション

第3回まちあるき~深大寺周辺
6/3(土)AM9:50 布多天神集合
深大寺のそば店で昼食。店主のお話もあります。
6月まち会定例会 6/7(水)PM7:00~9:00
たづくり6F 601会議室

【編集後記】

3号からタイトルに沖崎さんのスケッチを入れました。見やすい紙面づくりをしたつもりですが、いかがでしょうか。感想をお寄せ下さい。(江刺)